

平成 26 年度版

玉野市の概要

た ま の っ て ど ん な ま ち ？



-目次-

玉野市のプロフィール	1
玉野市のよいところ	3
都市交流	5
まちづくり	7
ユニークな行政施策	11
観光	14
イベント	17
特産物	19
玉野市のあゆみ	21
データで見る玉野市	23



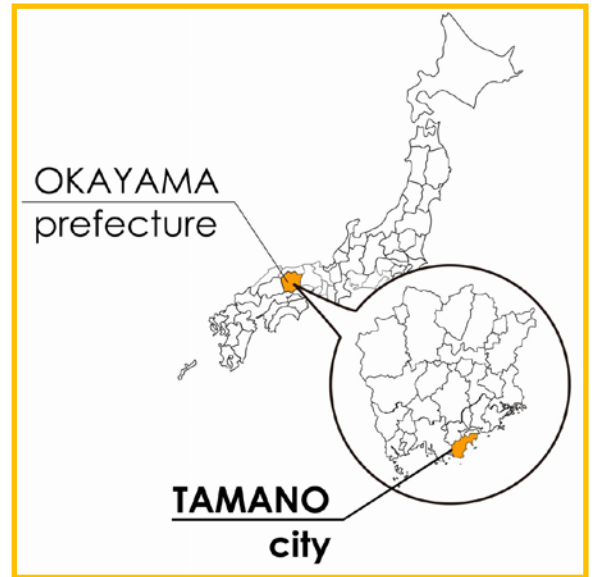
玉野市のプロフィール

玉野市は、岡山県の南端に位置し、瀬戸内海の美しい自然に恵まれた、風光明媚で気候の温暖なところ です。

市の中心部にある宇野港は、瀬戸大橋の開通まで、宇野 - 高松を結ぶ宇高連絡船の発着地、また東京 - 宇野を結ぶブルートレイン瀬戸の発着点となるなど、本土と四国を結ぶ海上交通の要衝で、四国の高松や瀬戸内海の島々（直島・豊島・小豆島）への航路がある瀬戸内のターミナルです。

産業においては、現在の三井造船（株）玉野事業所、パンパシフィックカッパー（株）日比精煉所などがあります。

近年、市民のまちづくりに対する参画意識が高まっていることから、地域が主体性を持ち、その能力を十分発揮できるよう市民活動の積極的な支援を行い、市民と行政との協働によるまちづくりを進めるとともに、本市を取り巻く環境の変化に適切に対応し、限りある財源の中で事業の選択と集中を行いながら、「安心・活力・支えあい～みんなで築く自立都市」を将来像として掲げ、地域の特色を生かした満足度の高いまちづくりを進めています。



位置

東経 133 度 57 分, 北緯 34 度 29 分,
東西 16.2 km, 南北 14.3 km,
岡山県の南端, 児島半島の基部に位置。

地勢

南部の花崗岩地帯 (64%) と北部の秩父古生層地帯 (36%) に区分され, 市域の約 60% が山地で, 大きな河川もなく, 特に海岸部は花崗岩質の山麓が海に迫り, 複雑な海岸線を形成。平野部は約 40% で, その大部分を農村地帯が占め, 海岸部の平地は, 埋立造成地を中心に集落を形成。

面積 (H24.10.1)

103.63 km²

人口 (H26.3.31)

63,246 人

男性: 30,711 人

女性: 32,535 人

世帯数 (H26.3.31)

27,984 世帯

1 世帯あたり人数 2.26 人

人口密度 (H26.3.31)

610 人/km²

玉野市民憲章

瀬戸内の美しい自然に恵まれた私たちは, 郷土の発展とおたがいの幸福を願ってこの憲章を生活のささえとします。

- 1 健康で, 明るくはたらきましょう。
- 2 みんな仲よく, 助けあいましょう。
- 3 きまりを正しく, 守りましょう。
- 4 緑と花のまちを, 育てましょう。
- 5 世界に伸びる玉野をつくりましょう。

市の花「つつじ」



市の木「ばべ」



市の魚「めばる」



玉野市のよいところ

市民が「あたりまえ」と思っている玉野市の日常風景。
実は意外な「よいところ」にあふれています。



恵まれた自然環境

年間日照時間 2222.8 時間は全国 2 位(気象庁メッシュ気候値 2000)。ドイツの地理学者リヒトホーフェンが絶賛したという瀬戸内の景観に加え、台風が上陸しにくく、大きな地震が少ないなど、とても住みやすい土地柄です。



大型客船が寄港する港

宇野港の耐震大型客船バースは西日本最大級。年間を通じて、多くの客船が寄港しています。

また、四国や瀬戸内海の島々への海上交通として、フェリーも運航しています。



広い都市公園

丘陵地の自然を生かした「みやま公園」は面積約 200ha。敷地内には桜やツツジなど約 15 万本が植栽されています。住民一人当たりの都市公園の面積は県下で最も広く、全国平均のおよそ 5 倍もあります。



淀川テクニク「宇野のチヌ」撮影：高橋公人

瀬戸内国際芸術祭

瀬戸内国際芸術祭は、瀬戸内海の島々を舞台に開催する現代アートの祭典です。2 回目を迎えた 2013 年、玉野市も正式な会場として参加し、首都圏や関西をはじめ、海外からも多くの観光客が訪れました。



玉野けいりん

瀬戸内海を望むシーサイドバンク。1950 年の開設以来、玉野市の財政を支えてきました。マスコットの「ガッツ玉ちゃん」は一度見たら忘れられないインパクトがあります。



整備された下水道

下水道普及率は 90.0% (平成 25 年度末) と県内 15 市中 1 位の普及率です。適切な生活排水の処理を行い、住み心地のよいまちづくりに取り組んでいます。



救急車の到着が早い

通報から現場への到着時間は、平均 6.2 分と全国平均より 2 分も早く、また、通報から医療機関への搬送時間は、平均 34.1 分と全国平均より 4 分も早いまちです。（平成 24 年中）。市内の 1 署 4 出張所の 5 か所に救急車を配備し、素早く現場や医療機関に到着できる体制を整えています。



充実した子育て教育施策

小学校全学年で 35 人学級を実施し、中学校卒業までの医療費(保険適用分)を市が負担します。また、平成 24 年 4 月には玉野市教育サポートセンターを開設し、青少年の健全育成や不登校児童生徒の支援等に力を入れています。



市民参加のまちづくり

「玉野市協働のまちづくり基本条例」を定め、市内の自治会・町内会や NPO 法人、ボランティア団体などの各種団体が行う社会貢献活動を支援する「協働のまちづくり事業」を実施しています。



葬祭費無料

昭和 48 年から実施している無料葬祭制度。市民は、なんらかの形で市に貢献をしているとの考えから始まった制度です。



シーバス&シータク

コミュニティバス「シーバス」と乗合タクシー「シータク」を組み合わせ、自家用車がなくとも通院、通学、ショッピング、そしてサークル活動といった、市民の皆さんが様々なシーンで活用できる移動手段を提供しています。



シティセールス

イメージキャラクター「のちゃん」の活用や、県内初となるフェイスブックページによる情報発信など、市のイメージや知名度の向上に取り組んでいます。

都市交流

— 国内外に広がる友好の輪 —

国内では、岡谷市（長野県）と市制施行 40 周年を契機に、人口及び産業構造の類似した都市同士として、姉妹都市縁組を締結しています。また、中央区（東京都）とは、本市の基幹産業である三井造船、北興化学の本社が立地していること、港湾都市であることなどから交流が始まり、平成 8 年には災害相互援助協定を締結しました。

国外では、統營市（大韓民国）と活魚の輸入を通じて交流が深まり、市制施行 40 周年記念事業のひとつとして、姉妹都市となりました。現在も玉野青年会議所を中心に市民レベルでの交流が続いています。また、グロスター市（アメリカ合衆国）とは、急速な国際化の流れの中で、英語圏の都市とも交流を進めることが、今後、重要な意味を持つてくるとの考えから、教育的・文化的に優れた同市との交流が始まりました。市民親善訪問団や中高生のホームステイなどによる市民レベルの交流を進めています。また、平成 5 年に玉野市長を団長とする訪問団が九江市（中華人民共和国）を訪れたことを契機に交流が始まり、その後、行政間はもとより学校交流、書画展等の開催、研修生受入事業など民間ベースでの交流が進み、平成 8 年 10 月に友好都市縁組を締結しました。

中華人民共和国 江西省
きゅうこう
九江市

【縁組締結】平成 8 年 10 月 5 日
【面積】18,823 km²
【人口】5,086,100 人 (H24.12.31)



友好都市

大韓民国 慶尚南道
とんよん
統營市 —観光と水産のまち—

【縁組締結】昭和 56 年 8 月 3 日
【面積】239.22 km²
【人口】139,719 人 (H25.12.31)



姉妹都市

姉妹
都市

長野県
お か や
岡谷市

【縁組締結】昭和 55 年 10 月 1 日
【面積】85.19 km²
【人口】51,162 人 (H25.12.1)



交流
都市

東京都
ちゅうおう
中央区

【都市縁組】未締結
(H8.7.29 防災協定締結)
【面積】10.094 km²
【人口】132,610 人 (H26.1.1)



姉妹
都市

アメリカ合衆国
マサチューセッツ州
グロスター市

【都市縁組】平成 16 年 7 月 23 日
【面積】67.31 km²
【人口】30,273 人 (H15.5.31)



まちづくり

玉野市総合計画 ーみんなで築くたまのプランー

安心・活力・支えあい

～みんなで築く自立都市

みんなで築くたまのプランは、玉野市における総合的、計画的な行政運営を図るために、平成19年4月に策定したものです。

「安心、活力、支えあい～みんなで築く自立都市」を将来像に掲げ、4つの柱（施策大綱）に基づき、各種施策の推進に取り組んでいます。

施策大綱

1 住み心地のよい
活気あるまち

施策大綱

2 健やかで安全・安心
に暮らせるまち

施策大綱

3 豊かな心を
はぐくむまち

施策大綱

4 市民が主役で
築くまち

1 生活基盤の整備

快適で
暮らしやすい
まちづくり

道路・交通などの利便性を向上させるとともに、計画的な土地利用を行い、良質な住環境を確保することで、快適な生活を送ることができるまちをつくりまします。



●玉野市乗合タクシー「シータク」

2 環境の保全

美しい
環境を守る
まちづくり

玉野市の恵まれた自然を保全するとともに、廃棄物等を適切に処理し、環境負荷を抑えることで、美しい自然環境を守り続けるまちをつくりまします。



●省資源・省エネルギー啓発イベント「くるりんクルクル」

3 産業の振興

活気ある いきいきとした まちづくり

商工業、農林水産業の活性化に努め、雇用の確保を図るとともに、港などを活用した観光振興により交流人口を増加させることで、活力のあるまちをつくりまします。



●たまの・港フェスティバル

4 安全の向上

安全で 災害に強い まちづくり

災害、火災等の予防に努めるとともに、発生時には、迅速かつ的確に対応できる体制を構築することで、安全な生活を送ることができるまちをつくりまします。



●玉野市消防団消防操法訓練大会

5 福祉の充実

安心して 生活できる まちづくり

子どもたちが健やかに成長し、また、高齢者や障害者が自立した生活が送れるよう、必要な支援を行うなど、すべての市民が安心して生活を送ることができるまちをつくりまします。



●玉認定こども園

6 保健・医療の充実

元気のある 健康な まちづくり

市民の健康づくりと、地域医療の充実を進めることで、すべての市民が必要な医療を受け、健康な生活を送ることができるまちをつくりまします。



●はつらつ健康教室

7 文化の醸成

生きがいに 満ちた豊かな まちづくり

いつまでも学び続けられる環境を提供するとともに、芸術・文化、スポーツを振興することで、すべての市民が生きがいに満ちた人生を送ることができるまちをつくりまします。



●たまの市民音楽祭

8 教育の充実

心豊かな人を はぐくむ まちづくり

学校や地域・家庭における教育を充実させ、学力の向上と心の育成を図り、子どもたちを心豊かでたくましく育てることができるまちをつくりまします。



●玉野市教育サポートセンター

9 市民参加

市民参加の まちづくり

コミュニティやボランティア等の市民活動を活性化させるとともに、行政情報の提供や市政への参画機会を充実させることで、市民がまちづくりに積極的に参加するまちをつくりまします。



●地域懇談会

10 地域経営

効果的・効率的な 行財政運営

市民ニーズを把握し、市民満足度の高い市政を推進するとともに、事業の選択と集中を図り、限られた資源を有効活用することで、効果的、効率的な行財政運営を行います。



●「荘内市民センター」 他市内9か所に設置

ユニークな行政施策

- 生涯学習の推進 -

現在、総合文化センター（中央公民館）を中心とした16か所の公民館と生涯学習センターが生涯学習活動の実践の場となっています。

また、平成10年から「まちづくり出前講座」として、市役所が関わっている仕事を学習するメニューを取り揃え、市職員や医師、市民ボランティア等が講師として、市民の自主的な生涯学習やまちづくりの活動を支援しています。

さらに、平成22年度から、中央公民館において地域を支える市民の育成の場として、「たまの地域人づくり大学」を開設し、様々な場面で活躍できる人材を送り出しています。



- 葬祭費の無料化 -

「市民は、なんらかの形で市に貢献をしている」との考えのもと、昭和48年から、無料葬祭制度（①霊柩車、②祭壇及び木棺等付属品、③斎場待合室及び④火葬炉の使用に係るサービス）を実施しています。

玉野市斎場は、施設の老朽化に伴い新築し、大型棺への対応、動物炉の設置を行い、平成22年9月より供用を開始しています。



- より良い地域交通サービスの提供 -

免許が持てない学生や車の運転が難しくなった高齢者など、市内を自由に移動できない方々からの声を受け、コミュニティバス（シーバス）に乗合タクシー（シータク）を組み合わせた新たな公共交通体系を実現しました。

そして、新たに加わった「シータク」により、市内の移動はもとより、路線バスやJRなどの交通機関とスムーズな乗り換えも実現し、玉野市外を行き来するアクセスも向上しています。



- 商工業の活性化 -

三井造船㈱の企業城下町として発展した玉野市は、多くの造船関連企業が集積する「ものづくりのまち」です。これらものづくり企業における新たな取り組みを促進するため、平成 17 年度から「ものづくりチャレンジ支援事業」を実施し、研究開発や設備導入などを支援しています。

さらには、工業中心のまちにおいて、魅力ある店舗を増加させ、商業の振興を図るため、平成 10 年度から「魅力ある個店づくり推進事業」を実施し、店舗の改装や新規開業の支援を行うなど、様々な支援制度を通じて、商工業の活性化に取り組んでいます。



- トップアスリート・アーティスト招へい事業 -

子どもたちにスポーツの楽しさを体験させ、中・長期的なスパンで各団体の選手強化につなげ、競技力の維持・向上に努めています。

また、小・中学生に優れた芸術文化に接する機会を提供し、次代を担う人材の育成や本市における芸術文化の振興を図っています。



- 幼稚園・保育園の園庭の芝生化 -

気温の上昇や埃の緩和だけではなく、成長過程の小さな子どもたちが、裸足で快適に外遊びやスポーツができるよう、また、万一の転倒時にも怪我をしにくく、安全に遊ぶことができるようにと園庭の一部または全部を芝生化し、子どもの健やかな成長を支援しています。

現在、市立幼稚園では 7 園すべてで、また、市立保育園では 12 園中 10 園で園庭の芝生化をしています。



- こども医療費助成事業 -

中学校卒業までのこども医療費を全額補助（保険適用の一部負担金）することで、子育て費用の負担軽減と児童の健やかな成長を支援しています。



- 不用品活用銀行 -

ごみの減量及び再資源化を促進するための施設である「玉野市リサイクルプラザ」では、家庭内で不用になったが、捨てるにはもったいない物を、欲しい方へお譲りする場として「不用品活用銀行」を運営し、環境に優しいまちづくりを進めています。



瀬戸内温泉「たまの湯」

- 中心市街地活性化対策事業 -

本市の有する海や港といった地域資源のほか、市民団体による「ののちゃん」やアートに関わるまちおこしの活動などを連携・活用させながら、中心市街地（宇野・築港エリア）の賑わいの創出と活性化に取り組んでいます。この事業は国の認定を受けた「玉野市中心市街地活性化基本計画」に基づくもので、官民協働で新しいまちづくりを進めています。

- シティセールス推進事業 -

本市出身の漫画家いしいひさいち氏の協力のもと、朝日新聞に掲載中の4コマ漫画「ののちゃん」を市のイメージキャラクターと位置付け、玉野市の知名度向上のため官民が連携し様々な情報発信を行っています。

市では、原付バイクのオリジナルナンバープレートを始め、広報紙やウェブサイトなど、多様な媒体で活用し、また民間においても、NPO法人による「ののちゃんち」や、観光協会が運営する「たまのミュージアム」で、いしい氏の作品や市で作成したグッズを常設展示するなどしています。



観光

本市は、瀬戸内海備讃瀬戸海域に面し、直島諸島等の多島美に恵まれ、東西約 44km に及ぶ海岸線と、渋川海岸など瀬戸内海国立公園区域を有しています。(今年度は、瀬戸内海国立公園指定 80 周年記念として、さまざまな行事が予定されています。)

既存の観光資源としては、渋川海岸、王子が岳、みやま公園などが挙げられます。

また、宇野港では延長 280m・水深 10mの大型客船バースが供用開始されるなど、交流型ウォーターフロントの創出に向けて整備しています。

- 渋川海岸 -

県下最大の海水浴場として、京阪神からも多くの利用客が訪れます。周辺には玉野海洋博物館やダイヤモンド瀬戸内マリンホテルなどがあり、王子が岳を含めたリゾート地帯として整備されています。



▲渋川海岸



◀玉野海洋博物館



- 王子が岳 -

花崗岩の巨奇岩が林立する特異な山容で知られ、山頂からは瀬戸内海をはさんで四国連山や瀬戸大橋の全景を一望できます。また、体験型レクリエーションとして、パラグライダーやボルダリングも盛んです。山頂付近にはテーマパーク「おもちゃ王国」や「渋川動物公園」があり、休日には家族連れで賑わっています。

▼王子が岳から望む瀬戸内海



- みやま公園 -

自然林と池沼が連なる地域の自然を活かした公園として、整備されています。また新鮮な魚や野菜などの直売所「みどりの館みやま」や、「深山イギリス庭園」も併設され、県下最大の都市公園として、市内外から多くの観光客で賑わっています。



▲みやま公園

▼深山イギリス庭園



- 宇野港周辺 -

高松、直島、豊島、小豆島へ、のべ1日約60便のフェリーや旅客船で結ばれており、宇野駅前の港湾緑地の整備や大型客船バースの供用開始など、24時間活動型のにぎわいと潤いのある「交流型ウォーターフロント」を目指しています。宇野港周辺のイベントとしては、毎年春（5月）に「たまの・港フェスティバル」が、海・港・船をコンセプトに開催され、また、現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」の会場のひとつとして、芸術祭屋外作品などが点在したアートサイトにもなるなど、多くの来訪者で賑わっています。

▼宇野港



- 瀬戸内国際芸術祭 -

瀬戸内国際芸術祭は、瀬戸内海の島々を舞台に3年に1度開催する現代アートの祭典です。2010年に第1回を開催し大きな反響を呼びました。

2回目を迎えた2013年、玉野市も宇野港周辺会場として正式に参加し、首都圏や関西をはじめ、海外からも多くの観光客が訪れました。

芸術祭閉幕後も「ART SETOUCHI」として、「宇野のチヌ」などの野外作品を中心に、引き続き作品を展示しています。また、瀬戸内の島々と一体的なイベントの開催も予定しています。

■瀬戸内国際芸術祭 2013 のアート作品



宇高連絡船・機関車わらアート号



JR 宇野線アート列車(PARADISE)



Una



街中写真プロジェクト「島島」



abandon/hope

■現在も展示中のアート作品



舟底の記憶



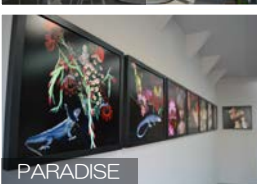
海からの贈りもの



PARADISE



街中写真プロジェクト



連絡船公募展



プラチナ・ポートレート



宇野のチヌ

イベント

海・港・船をテーマにした「たまの・港フェスティバル」や夏の風物詩となっている「玉野まつり」など、年間を通して多くのイベントが開催されています。

春



深山さくらまつり



炭川藤まつり



たまの・港フェスティバル



玉野まつり



夏



炭川海水浴場
浴客サービスデー



炭川海水浴場海開き式

玉野4コマまんがまつり



たまの渋川ビーチサッカー大会 (夏と秋に開催)



秋

玉野けいりん場まつり



「鳥人幸吉」まちづくりフェア



鳥人幸吉まちづくりフェア

冬

西行まつり



郷土芸能発表会



通年



新造船の進水式



ART SETOUCHI

特産物

— たまの の おすすめ —

近年、本市では地産地消の気運が高まり、地域住民のアイデアで多種多様な特色のある加工品が登場するなど、「玉野らしい」新たな逸品づくりが始まっています。

その中でより優れた逸品を“玉野ブランド”として認定しているのが「お宝たまの印」で、平成25年現在、23の商品が認定を受けています。

海産加工品

【特産物】

胸上のり・のり佃煮、焼き穴子

【お宝たまの印】

たまげた一夜干、焼きたこ、たこの味噌漬
穴子の味噌漬、大多幸くん（燻製）
タイくん（燻製）、サワラくん（燻製）
おおボラふき（燻製）
龍宮城（サワラ、大ダコ、タイ、エビの燻製）
焼き海苔、味付け海苔



穴子の味噌漬



大多幸くん



たまげた一夜干

農産品・果物など

【特産物】

千両ナス、からし茄子、荘内米
マルハチ梨、スプレーバラ
スイートピー、番田いも、大藪みかん
雑穀（きび、たかきび、はとむぎ）



千両ナス



スイートピー



玉野五穀

酒類

【お宝たまの印】

たまの藤ロマン
（藤の実リキュール）



たまの藤ロマン

工業製品

【特産物】

船舶、銅、学生服、化学薬品、食塩

菓子類

【特産物】

紫いものソフトクリーム、備前玉野太鼓、紫いも食パン、紫いもわらび餅

【お宝たまの印】

紫いものスイートポテト・パイ・クッキー

進水久寿玉（もなか）

番田の紫いもバターカステラ

レモンケーキ（玉野産レモンを使用）



紫いもパイ



進水久寿玉



紫いもの
スイートポテト



番田の紫いも
バターカステラ

民芸品

【特産物】

メバルグッズ

【お宝たまの印】

めばる箸置き、めばる角皿・大皿・小皿

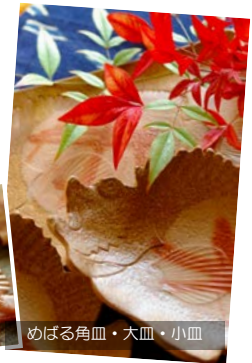
お守り支綱（3種）



お守り支綱



めばる箸置き



めばる角皿・大皿・小皿

その他 ユニークな加工品

【ご当地グルメ・料理・スイーツ】

たまの温玉めし（穴子入り焼きめし）

たまの自衛艦カレー

たまげたシリーズ

（舌平目「げた」を使った料理）

藤味うどん

紫いも生うどん

ねこたまのクランチ



たまの自衛艦カレー



ねこたまのクランチ



たまの温玉めし

玉野市のあゆみ

● 1167年

西行法師が渋川や八浜を訪れる



● 1785年

表具師幸吉（現在の玉野市八浜町出身）、岡山市の京橋欄干から羽をつけて飛ぶ



● 1909年

宇野港竣工式



● 1910年

宇野線開通
宇高連絡船就航

● 1919年

日比町玉に三井物産の造船部（現在の三井造船）創業

● 1934年

瀬戸内海が国立公園に指定

● 1940年

玉野市誕生

● 1948年

市立玉野備南高等学校開校

● 1950年

市営競輪場開設



● 1952年

市立玉野療養所（のちの市民病院）開設

● 1953年

市立玉野海洋博物館完成
備南電鉄（のちの市営電鉄）開通
山田村合併



● 1954年

荘内村合併

● 1955年

宇野港第一突堤完成
八浜町合併



● 1957年

市立玉野商業高等学校開校

● 1962年

第17回国民体育大会（ヨット会場）



● 1966年

現在の玉野市役所が完成



History of Tamano City

● 1968年

国道30号バイパスループ橋完成
皇太子（当時）夫妻，スポーツセンタープール開きにご臨席



● 1970年

成人の船始まる（～1996年）
玉野おどり始まる



● 1972年

市営電鉄廃止

● 1973年

葬祭費無料化を実施

● 1974年

東児町合併

● 1983年

玉野市総合体育館（レクセセンター）完成
玉野市民総合運動公園
野球場完成



● 1988年

瀬戸大橋開通に伴い宇高連絡船廃止
ホバークラフト廃止



● 1994年

現在の宇野駅完成



● 1996年

道の駅みやま公園開駅



● 1997年

市魚がめばるに決まる

● 1999年

シーバス運行開始

● 2005年

第60回国民体育大会（自転車，フェンシング，弓道，バレーボール）

● 2010年

市制70周年を迎える
ののちゃんがイメージキャラクターに決まる



● 2012年

シータク運行開始

● 2013年

皇太子殿下，新造船の命名・進水式にご臨席
瀬戸内国際芸術祭2013に正式な会場として参加



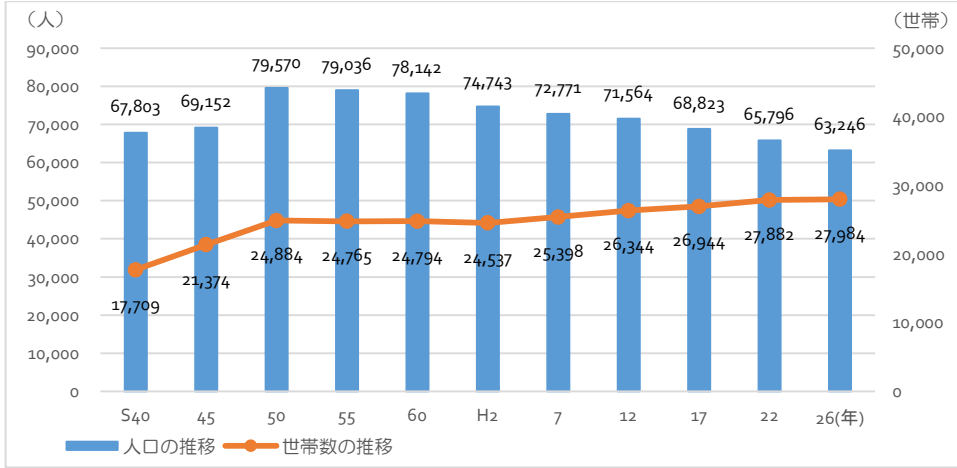
● 2014年

第9回全国ビーチサッカー大会（予定）

History of Tamano

データで見る玉野市

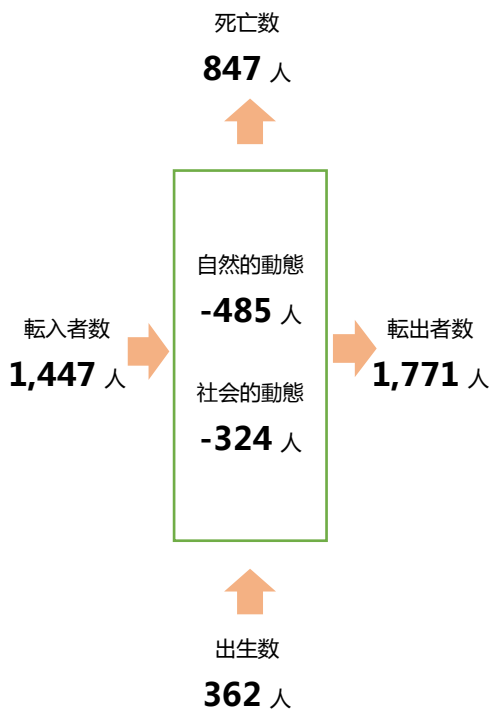
人口・世帯数の推移



人口 **63,246** 人
世帯数 **27,984** 世帯

(資料：市民課 住民基本台帳
各年3月末現在)

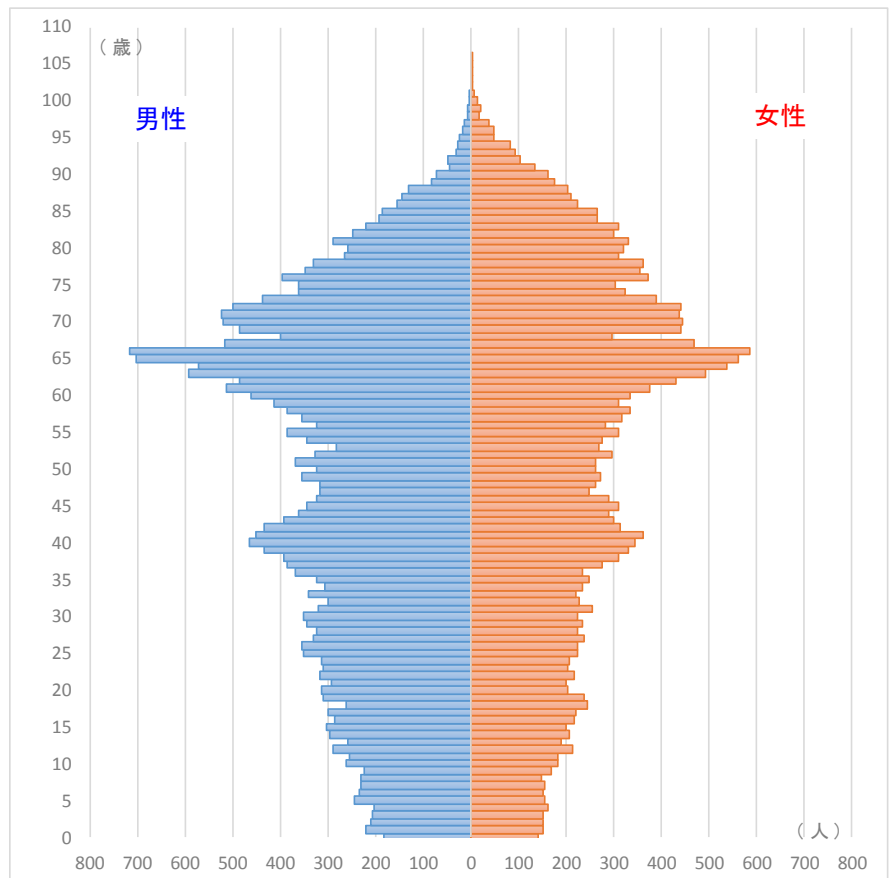
動態人口



平成25年度の人口の増減は、自然増減-485人、転出入-324人でした。

(資料：市民課 住民基本台帳 H25年度)

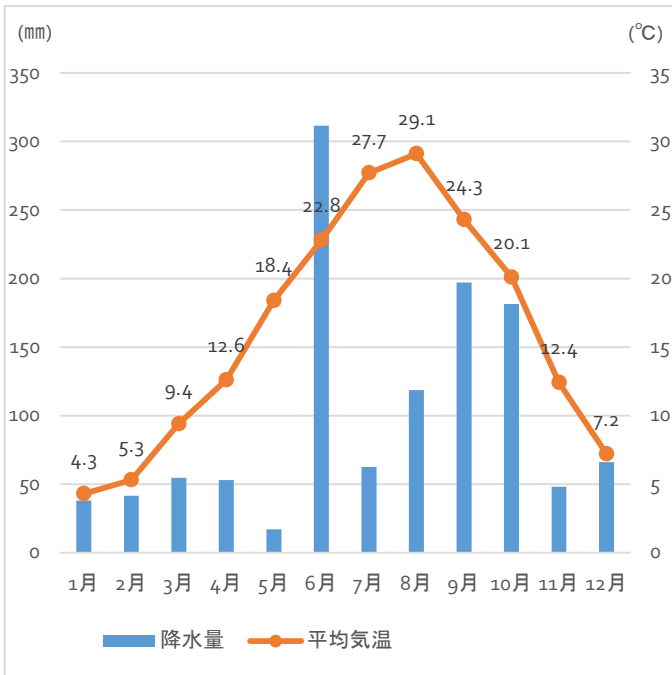
年齢別男女別人口



団塊ジュニア(40歳周辺)と団塊の世代(65歳周辺)に人口のピークがあります。

(資料：総合政策課 住民基本台帳 H26.3末現在)

気象



年間平均気温 **16.1°C**

年間降水量 **1189.0mm**

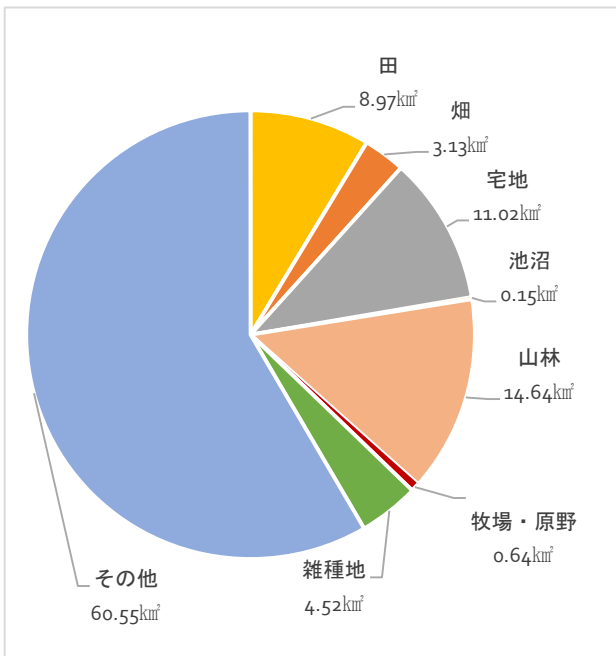
年間日照時間 **2310.8 時間**

1日降水量 1mm 以上の日数 **80 日**

温暖で雨が少ない典型的な瀬戸内式気候であり、四季を通じて激しい気候の変化がなく、過ごしやすい地域となっています。

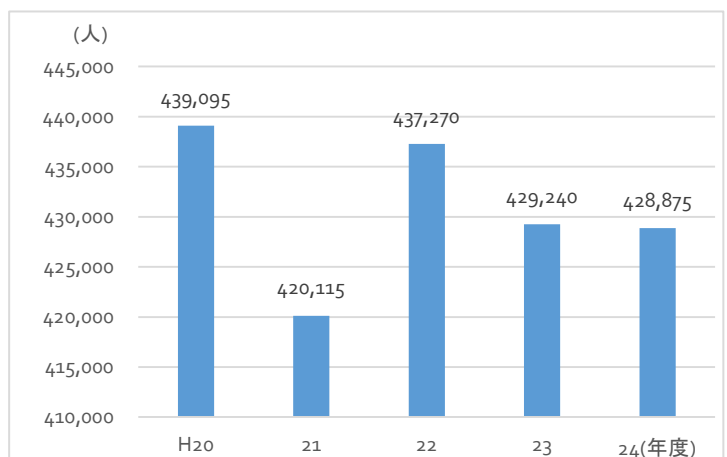
(資料：総合政策課 気象庁岡山地方気象台 H25年)

地目別面積



(資料：税務課 固定資産概要調書等報告書 H26.1.1 現在)

JR 宇野駅利用状況

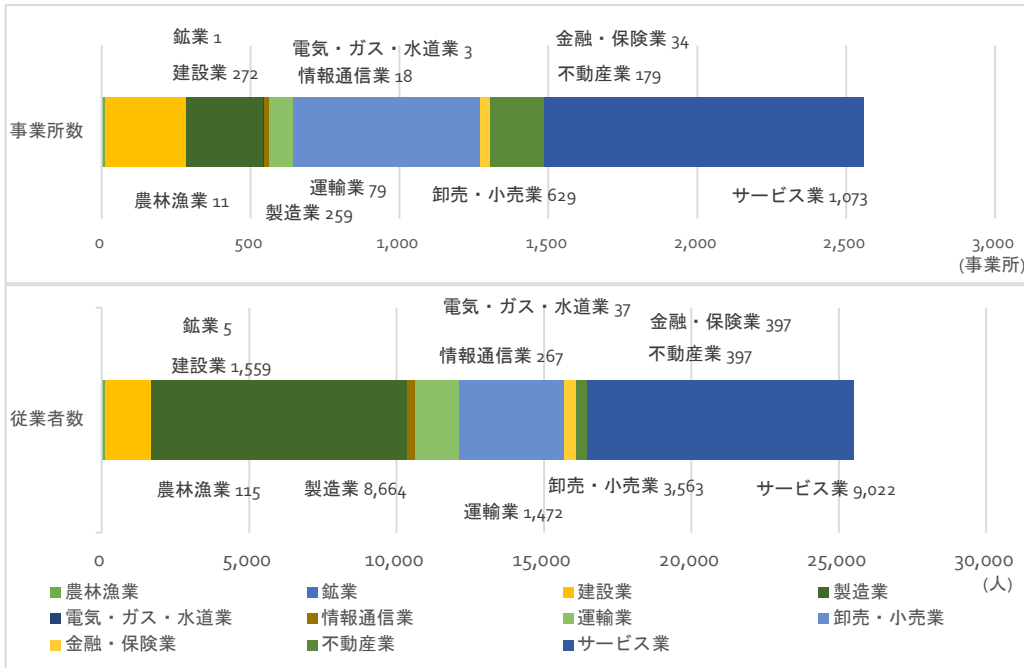


乗車人員 **428,875 人**

明治 43 年に開通した宇野線は、本州と四国を結ぶ交通の主要ルートとして重要なウエイトを占めてきましたが、瀬戸大橋線の開通により利用者数が減少しています。しかし、平成 10 年 4 月の玉野看護福祉総合専門学校の開校をはじめ、平成 13 年 4 月に産業振興ビル、平成 14 年 9 月にフェリーターミナル、平成 18 年 5 月に 3 万トンクラスの大型船舶の着岸ができる耐震バースが完成するなど、今後 JR 宇野駅周辺地区の中心市街地活性化事業等に伴い、利用者数の増加が期待されるところです。

(資料：総合政策課 JR 宇野駅)

産業別事業所数及び従業者数



事業所数

2,558 事業所

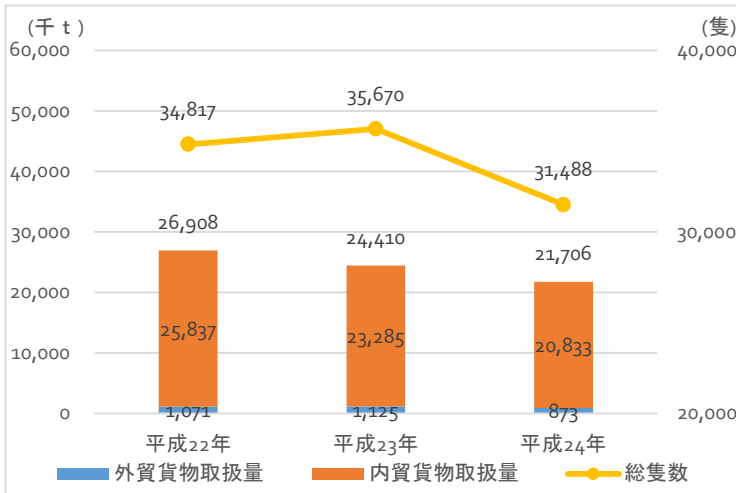
従業者数

25,498 人

※国及び地方公共団体に属する事業所を除く

(資料：総務課 経済センサス活動調査 平成 24 年)

宇野港入港船舶の状況



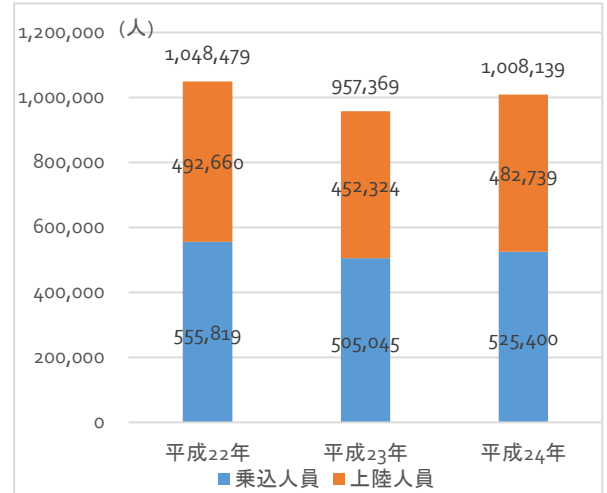
総入出港船舶数 **31,488** 隻

総貨物取扱量 **21,706** 千 t

宇野港港湾計画により、宇野港田井地区は物流関連ゾーンとして、県下最大級（-12m）の岸壁が平成 3 年度に完成。平成 16 年度には、タイヤマウント式ジブクレーンが設置されるなど、物流機能の整備が図られています。更に同港宇野地区を人流関連ゾーンと位置付け、平成 17 年度末には総延長 280m の大型旅客船専用バース（-10m）が完成するなど、フェリーターミナルと合わせ人流機能の整備も図られています。また、同港日比地区においても、海洋性観光レクリエーションの振興、港湾機能（マリーナ・小型船だまり）の充実を図るため整備が進められています。

(資料：商工観光課 岡山県土木部港湾課 港湾統計調査)

宇野港船舶乗降人員



船舶乗降人員 **1,008,139** 人

瀬戸大橋の開通に伴う宇高連絡船の廃止、また近年の高速道路料金の割引等による流通形態の変化により、トラックなどの自動車航送を中心としたフェリーの幹線航路としての機能は低下していますが、宇野港の乗降人員数は、約 100 万人で推移しており、現在もなお重要な役割を果たしています。

(資料：商工観光課 岡山県土木部港湾課 港湾統計調査)

玉野市章



市民から公募により、昭和 16 年 5 月 13 日に制定。

「玉野（玉の）」の文字を配したデザインとなっています。

- 都市宣言 -

- 世界連邦平和都市宣言（昭和 33 年 9 月 30 日）
- 安全都市宣言（昭和 37 年 3 月 20 日）
- 青少年健全育成都市宣言（昭和 52 年 6 月 23 日）
- 非核平和都市宣言（昭和 59 年 6 月 25 日）
- ゆとり宣言（平成 3 年 9 月 20 日）
- 敬老自治体宣言（平成 4 年 12 月 22 日）
- 環境宣言（平成 4 年 12 月 22 日）
- 男女共同参画都市宣言（平成 14 年 9 月 20 日）



市の花「つつじ」



市の木「ばべ」



市の魚「めばる」



道路案内標識用
玉野市シンボルマーク



市のイメージキャラクター
「ののちゃん」

玉野市歌

昭和 25 年 8 月 3 日制定

作詞 壺井繁治

作曲 関忠亮

- 1 うみぐにの うみそいのまち
せとのしお そのみちひきに
あけくれる われらのまちの
いとなみよ ああ、たまの
ひかりあるわれらのまち
- 2 りくにいき ぐらしのあせを
ながしては うみにむかいて
むねひろげ こゝろひとつに
きづくまち ああ、たまの
あすへのびわれらのまち
- 3 うのとたま ひびをあつめて
だいたまの でふねいりふね
ぞうせんに とどろきやまぬ
わがまちよ ああ、たまの
ちからあるわれらのまち
- 4 しまじまを みさきをむすぶ
かよいぶね こゝはしこくと
ちうごくを むすびはんかな
なみとまち ああ、たまの
さかえゆくわれらのまち

- 5 ほをあげて すすむがごとき
われらには かぜもあらしも
なにもぞ こころひとつの
われらには ああ、たまの
すすみゆくわれらのまち
- 6 ひるもよも ひびきのなだの
なみをきき なみにせかいの
こえをきき へいわめざして
すすむまち ああ、たまの
へいわなるわれらのまち





玉野市の概要

【編集・発行】

玉野市政策部総合政策課

〒706-8510 岡山県玉野市宇野 1-27-1

電話 0863-32-5505 FAX0863-32-5507

HPアドレス <http://www.city.tamano.okayama.jp>

Facebook <http://ja-jp.facebook.com/tamanocity>

Twitter http://twitter.com/tamano_PR